

環日本海域環境研究センター特別講演会のご案内

- 日 時：2018年1月30日（火）08:45～10:15
- 場 所：金沢大学自然科学研究科講義棟 203 教室
- 講 師：Dr Hang Peou, カンボジア国立アンコール遺跡整備公団（Autorité pour la Protection du Site et l'Aménagement de la Région d'Angkor, Royaume du Cambodge）環境管理担当副総裁／環日本海環境研究センター客員教授
- 演 題：アンコール世界遺産における水環境保全事業 —古代水利ネットワークの再利用プロジェクトを中心に—
- 要 旨：カンボジアにあるアンコール世界遺産は、10世紀から16世紀にかけて栄えたクメール帝国が残した寺院や橋梁などの石造建築物群です。アンコールワット寺院がよく知られていますが、石川県の半分にもおよぶ広大な指定区域には約800もの石造建造物があり、熱帯地方に特有の豊かな自然とともに昔ながらの生活を営む住民の存在でも知られています。しかしながら、昨今の世界遺産ブームによって同世界遺産には多数の観光客が世界中から押し寄せるようになり、水や大気などの環境汚染や森林の破壊が顕在化してきました。なかでも、水環境の保全は、地域住民の生活基盤の維持のため、また、豊かな自然環境の保全のため喫緊の問題となっています。

かつてのクメール帝国は水の王国としても知られていました。乾季における生活用水や農業用水の確保のため、また、都市の景観の維持のため、数多くの巨大貯水池や環濠、精緻な灌漑水路網からなる水利ネットワークが建設されました。しかし、同帝国の衰退とともにこれらの水利施設は放棄されました。この水利施設を現代によみがえらせ、アンコール世界遺産や地域社会の水利環境を整備するとともにこれを持続的に活用しようという事業が国立アンコール遺跡整備公団で進められ、環日本海域環境研究センターや本学理工学域もこれを支援しています。この講演では、古代水利施設ネットワークの再活用プロジェクトの話題を中心に、アンコール世界遺産での水環境の整備事業について講演いただきます。
- 使用言語：英語（一部通訳）
- 世話部門：連携部門（担当、陸域環境領域 塚脇真二 shinji@se.kanazawa-u.ac.jp）

第7回国際学セミナーならびに環日本海環境研究センター特別講演会のご案内

○日 時：2018年1月31日（水）08:45～10:15

○場 所：金沢大学総合教育棟 E10 講義室

○講 師：Dr Hang Peou, カンボジア国立アンコール遺跡整備公団（Autorité pour la Protection du Site et l'Aménagement de la Région d'Angkor, Royaume du Cambodge）環境管理担当副総裁／環日本海環境研究センター客員教授

○演 題：アンコール世界遺産における文化財保全事業ならびに地域社会支援事業

○要 旨：カンボジアにあるアンコール世界遺産は、10世紀から16世紀にかけて栄えたクメール帝国が残した寺院や貯水池などの石造建築物群です。アンコールワット寺院がよく知られていますが、石川県の半分にもおよぶ広大な指定区域には約800もの石造建造物があり、熱帯地方に特有の豊かな自然とともに昔ながらの生活を営む住民の存在でも知られています。しかしながら、昨今の世界遺産ブームによって同世界遺産には多数の観光客が世界中から押し寄せるようになり、さまざまな環境問題が顕在化してきました。また、観光客の増加にともなう文化財の劣化の問題や地域住民の人口過多といった社会問題も発生しています。

このような文化財や地域社会の問題を解決するため、国立アンコール遺跡整備公団では、数多くの国際保存修復チームとともに地域社会が世界遺産を保全するための枠組み作りや、カンボジアの伝統にのっとりながらも環境に配慮した新しい村づくりの建設を進めています。金沢大学が毎年派遣している海外インターンシップの学生たちが従事しているのはこれらの取り組みです。そこでこの講演では、文化財の保全事業や地域社会の活性化事業の話題を中心に、アンコール世界遺産での文化・社会環境の整備事業について講演いただきます。

○使用言語：英語（一部通訳）

○問合せ先：環日本海環境研究センター 塚脇真二 shinji@se.kanazawa-u.ac.jp